
「低亜鉛血症が潰瘍性大腸炎の臨床経過および予後に与える影響の解析」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1．研究の対象となる方

2015 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、潰瘍性大腸炎と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2．研究の目的

本研究の主な目的は、潰瘍性大腸炎で治療を受けている患者さんの低亜鉛血症の有無が、疾患の臨床経過および長期予後に与える影響かどうかを評価することです。

3．研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4．利用または提供の開始予定日

2025 年 6 月 16 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1．試料・情報の内容

調査項目は以下の通りです。年齢、性別、BMI、罹患期間、病変範囲、重症度、治療歴や症状、内視鏡検査所見、血液検査、糞検査（カルプロテクチンなど）、生活の質（IBDQ）等。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である宮口和也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2．試料・情報の取得方法

潰瘍性大腸炎と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 宮口和也（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 都築義和
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化管内科 宮口和也（担当者氏名）

住所：〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷-38

電話：049-276-1667（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：miyaguchi.kazuya@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：低垂鉛血症が潰瘍性大腸炎の臨床経過および予後に与える影響の解析

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化管内科 宮口 和也